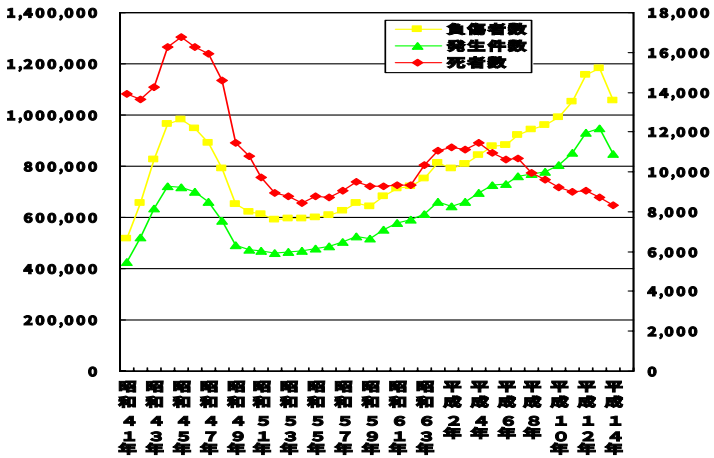
交通安全への今後の取り組みについて

政府は、平成14年の1年間における交通事故死者数が昭和45年のﾋﾟｰｸ時の半減を達成したことを受け、今後10年間を目途に交通事故死者数を更に半減（約5,000人）させ、世界で一番安全な国を目指す目標を掲げている。日本自動車工業会としても、この政府目標の達成に向け、業界として最大限の努力をしてまいりたい。また、国の交通安全基本計画への反映や安全な交通を確保するための道路整備等についても提案するなどして、政府関係方面に積極的に働きかけていきたい。

交通事故発生の推移



平成14年：交通事故発生状況

○死者数：8,326人（前年比－4.8%）

○発生件数：936,721件（前年比－1.1%）

○負傷者数：1,167,855人（前年比－1.1%）

・年齢層別の交通事故死者数は、高齢者（65歳以上）が全体の約4割（37.8%）と最も多く、次いで若者（16歳～24歳）が多い。

・ｼｰﾄﾍﾞﾙﾄ着用率は、毎年上昇しているが、依然として自動車乗車中死者（3,438人）の半数以上の57.4%に当る人がｼｰﾄﾍﾞﾙﾄ非着用となっている。

政府目標

今後十年間を目途に交通事故死者数を五〇〇〇人に

（世界一安全な国）

自工会の取り組み

事故分析

・人・自動車・交通環境面からの総合的調査・分析の充実策検討と提言など

（交通事故発生ﾒｶﾆｽﾞﾑの解明とより有効な交通安全対策への反映等）

人

交通安全教育・啓発活動

・交通安全教育ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ（高校生世代・高齢者）の策定・提言（体系的で一貫した生涯教育体制の確立・実施に向けて）

・参加体験型安全運転技能講習会（一般・ｼﾆｱ向け）の開催

・交通安全ｷｬﾝﾍﾟｰﾝの効果的展開

自動車

車両安全対策の推進方策の検討

（歩行者保護、ｼｰﾄﾍﾞﾙﾄ着用率向上対策、乗員保護性能向上対策等）

交通環境

調査研究、提言・要望活動

・より安全な交通環境整備への調査研究、提言・要望（道路整備・交通安全基本計画等への提言・要望）